



「大分に住み続けたい」 豊かな自然・都会に憧れも

高校生？%

「大分県に住み続けたい」と思っている高校生は46.9%。地元への愛着などを尋ねた県の全高校生オンライン調査で、定住を望む人は約半数近くに上った。大分の豊かな自然環境や人間関係に魅力を感じる一方で、都会への憧れものぞく。約85%の生徒は「大分が好き」と答えており、流出を防ぐには暮らしやすい環境づくりや将来に希望を持てる活気の創出が求められるそうだ。県は「若者がどんな未来を望んでいるのか把握し、施策に生かしたい」と話している。

県内の全ての高校生を対象にした調査は初めて。今年秋に策定する予定の「新長期総合計画」に、高校生は「海・山など自然環境が

県初の 調査 活気・利便性望む声

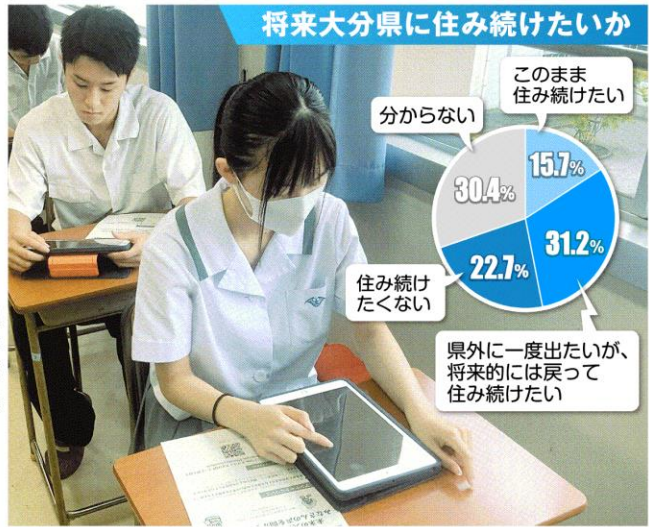
の思いや意見を反映させる目的がある。昨年8〜9月にタブレット端末などを通じて公・私立高の計2万8637人に10項目の質問を送付。2万1304人が答えた。回答率は74.3%。定住の質問では、「県外に一度出たいが、将来的には戻って住み続けたい」が31.2%と最も多く、「このまま住み続けたい」が15.7%だった。「住み続けたく

くない」は22.7%、「分らない」が30.4%だった。住み続けたいと答えた人は「海・山など自然環境が豊かな」「人間関係・家族関係が充実」「温泉が身近」「食べ物新鮮でおいしい」といった項目を上位に挙げた。一方、住み続けたくない理由は「都会への憧れ」「県外で1人暮らしをしたくない」「レジャー・娯楽が充実していない」「公共交通機関が不便」などが多くを占めた。

「大分県が好きか」という質問には、46.7%が「好

き」、37.6%が「どちらかといえば好きを選んだ。」「好きではない」と「どちらかといえば好きではない」は計6.6%、「どちらでもない」は9%にとどまり、多くの生徒が古里に愛着を抱いていた。力を入れてほしい県政の分野(複数回答)は▽子ども子育て支援 55.1%▽医療・健康づくり 24.5%▽観光振興 22.9%

「の順だった。自由記入の「未来の理想の大分県」には、「自然が豊かで環境に優しい」「安全安心」といった住環境を重視する意見や「都会のように栄えて」「観光客でにぎわう街」など活気・利便性を望む声も寄せられた。県政策企画課は「住みやすさと発展のバランスがとれた姿が求められている。行政が何をしていくべきかというイメージがより明確になった」と話した。(児屋野香純)



タブレット端末で回答する佐伯鶴城高の生徒。昨年8月、佐伯市



〔問①〕 まず記事を読む前に写真・イラストを見て、「大分に住みたい」高校生は何%でしょうか？

() %

〔問②〕 「大分が好き」お答えた生徒は85%だったが、大分に住みたい理由と住み続けたくない理由を下に書きましょう。

・大分に住みたい () 人

理由 : _____

・住み続けたくない () 人

理由 : _____

〔問③〕 若者が住みたい大分にするためには、どんな努力が必要でしょうか？文中の言葉を使って答えましょう。